

舞鶴市民新聞

各店舗に残数となったブルーチップスタンプ

みずなぎ学園に50万円分を寄付

スーパー「いまがわ」

市内で四店舗を持つスーパー「ショッピングプラザいまがわ」(足立正弘社長)はこのほど、ブルーチップスタンプ五十万円分を鹿原の福祉施設「みずなぎ学園」(竹之内正美園長)に寄付した。

同社では、営業施策として展開していたブルーチップスタンプのサービスを、三月十二日からグリーンスタンプのカードシステムに変更した。これに伴って、各店舗でブルーチップスタンプと商品交換、残数となったブルーチップスタンプ

プを福祉施設の設備充実に役立てるために提供を呼びかけた。

各店舗に残数となったブルーチップスタンプの投入箱を設け、各店舗の店長や店員らが協力を要請、五十万円分集まった。寄付を受けた「みずなぎ学園」では、園生たちが台紙にブルーチップスタンプを張り、園生に役立つ備購入に充てることになっている。

みずなぎ高野学園

機能訓練室と作業所の増築が完成

定員増へ施設整う

野村寺の精神薄弱者通所授産施設「みずなぎ高野学園」(松岡正人施設長)で進められていた機能訓練室と作業所の増築工事が完成、二日に関係者らが出席ししゅん工式があった。増築された建物は、鉄骨造り平屋建て二百三十七・五平方メートル。既存の機能訓練室と作業室を合わせると、広さは七百四十平方メートル。同学園には、現在三千人



増築された作業所(左側の建物)

が通い、建築部品の加工や荷物運搬用のパレットの組み立て作業を続けている。入所待機者も多くいることから、定員を現在の三千人から四十人に増員する計画で、建物を増築した。しゅん工式では、同学園の運営母体である社会福祉法人・みずなぎ学園の安屋敷正雄理事長代行らがテープカットして完成を祝った。

授産施設を増築

舞鶴みずなぎ高野学園

舞鶴市野村寺の通所の精神薄弱者授産施設「みずなぎ高野学園」の増築完成式が二日、現地で行われた。江守光起市長や真下定夫議長らがこれを機に障害者福祉の拠点としてさらに

発展をなすとあいさつ後、テープカットした。

同学園は一九九〇年春、移転した高野小の旧敷地に定員三十人で開設した。増築部分は現学園の南側で鉄骨平屋二百三十八平方メートル。作業所、訓練室、倉庫などからなり、これを機に定員を十人増やし四十人とする。

同市の通所精神薄弱者授産施設にはまだ余裕はあるが、第二次ベビーブーム世代が養護学校を卒業する時期に入っており、将来の不足を見込んで増築した。